



シリーズ

あなたとつなぐ

音訳グループ
「ひだまり」



市議会

「議会だより」や「広報こうか」などを音声データにしている方々に、活動についてお話を伺いました。

聞きやすい音声にするため

日々の訓練も欠かせない

〈活動内容は？〉

● 2018年4月号の「広報こうか」をスタートに、「議会だより」と「社協こうか」も音訳している

● メンバーは現在ボランティア7名で、個々の都合を調整しながら活動

● 視覚障がいの方々に音声データを提供し、誰もが市の情報を得られる環境づくりに貢献

● また、「広報こうか」はホームページから誰でも音声で聞くことが可能

〈活動で心がけておられる事は？〉

● 同音異義語のアクセントに注意することや、ぶつぶつ切って読まず、次の句読点まで一息で読むように気をつけている

● 読みにくい言葉もあり、事前に読み込んだ上で、録音に臨んでいる

● 日常から、新聞のコラムを声に出して読んだり、テレビやラジオのニュースアナウンサーの読み方を手本に訓練したりしている



〈グループに入ってよかった事は?〉

●自分たちのグループとして第1号を完成させた時は、達成感を覚え、感無量だった ●視覚障がいの方々のほか、文字の読みにくい方々にも伝えることのできる音訳に使命感を持っており、今後も活動を続けていくため、新しいメンバーを増やしていきたい

〈議会だより〉の感想は?〉

●さまざまな広報紙の中で、一番読みにくい
●漢字が多い、言葉が難しい、文字数が多い
●しかし、多くの文章量は、それだけ伝えたいことがたくさんあるのだなあとと思う ●読み込んでいくと、議会での経過が見えて、それが事業につながっていることがわかり、勉強になる

お知らせ

本号より市議会ホームページの議会だより内に「ひだまり」で制作いただいた音声データを掲載します。(発行日より1か月程度経過後となります)